

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 10 月 1 日 (2020.10.1)

【公開番号】特開 2018-149433 (P2018-149433A)

【公開日】平成 30 年 9 月 27 日 (2018.9.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-037

【出願番号】特願 2018-129531 (P2018-129531)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 4 日 (2020.8.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤と、前記遊技盤が設けられる本体枠と、前記本体枠に対して開閉可能に設けられる扉部とを有し、音データの割り当て対象とされるチャンネルの数が有限とされる遊技機であって、

前記遊技領域に設けられる始動口への入賞に基づいて図柄変動が実行され、該図柄変動にて所定の表示態様が現れると遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と、

表示演出が行われる表示手段と、

当該遊技機の状態を検出する状態検出手段と、

前記扉部または前記本体枠が開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、複数種類の報知音のうち開放報知音をチャンネルに割り当てて出力させる処理を実行可能な報知音割当手段と、

前記図柄変動の実行期間中に前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の演出音をチャンネルに割り当てて出力させる処理を実行可能な演出音割当手段と、

前記図柄変動の実行期間中に前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の演出音のチャンネル割り当てがなされている状況において、遊技者による操作受付を許容して、該操作受付に基づいてそれら演出音の出力音量を調整可能な変動中音量調整手段と

を備え、

前記報知音割当手段は、

前記図柄変動の実行期間中に前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の演出音のチャンネル割り当てがなされている状況において前記扉部または前記本体枠が開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、前記複数種類の報知音のうち前記開放報知音をチャンネルに割り当てて出力させるとともに、前記表示演出の進展に応じた各種の演出音のチャンネル割り当てこれ自体は中止せずその出力音量を特定値まで低下させる演出進展下報知処理を実行可能であり、

前記演出音の出力音量が前記特定値に低下されている期間では、遊技者による操作受付が行われたとしても、前記特定値まで低下されている演出音の出力音量は可変とされず維持されるようになっており、

さらに、

演出に応じた態様で発光可能な発光手段と、

遊技者による操作に基づいて前記発光手段の輝度にかかる設定値の変更を受け付ける輝度設定値受付手段と、

前記輝度設定値受付手段による設定値に基づいて前記発光手段の輝度を調整可能な輝度調整手段と

を備え、

前記発光手段は、前記扉部または前記本体枠が開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、前記演出に応じた態様とは異なる特定態様で発光しうるものであり、

前記発光手段が特定態様で発光している期間中においても、遊技者による操作がなされる都度、前記輝度設定値受付手段によって前記発光手段の輝度にかかる設定値の変更が受け付けられうるものである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明は、

遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤と、前記遊技盤が設けられる本体枠と、前記本体枠に対して開閉可能に設けられる扉部とを有し、音データの割り当て対象とされるチャンネルの数が有限とされる遊技機であって、

前記遊技領域に設けられる始動口への入賞に基づいて図柄変動が実行され、該図柄変動にて所定の表示態様が現れると遊技者に対して特典を付与する遊技制御手段と、

表示演出が行われる表示手段と、

当該遊技機の状態を検出する状態検出手段と、

前記扉部または前記本体枠が開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、複数種類の報知音のうち開放報知音をチャンネルに割り当てて出力させる処理を実行可能な報知音割当手段と、

前記図柄変動の実行期間中に前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の演出音をチャンネルに割り当てて出力させる処理を実行可能な演出音割当手段と、

前記図柄変動の実行期間中に前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の演出音のチャンネル割り当てがなされている状況において、遊技者による操作受付を許容して、該操作受付に基づいてそれら演出音の出力音量を調整可能な変動中音量調整手段と

を備え、

前記報知音割当手段は、

前記図柄変動の実行期間中に前記表示手段における表示演出の進展に応じて各種の演出音のチャンネル割り当てがなされている状況において前記扉部または前記本体枠が開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、前記複数種類の報知音のうち前記開放報知音をチャンネルに割り当てて出力させるとともに、前記表示演出の進展に応じて各種の演出音のチャンネル割り当てこれ自体は中止せずその出力音量を特定値まで低下させる演出進展下報知処理を実行可能であり、

前記演出音の出力音量が前記特定値に低下されている期間では、遊技者による操作受付が行われたとしても、前記特定値まで低下されている演出音の出力音量は可変とされず維持されるようになっており、

さらに、

演出に応じた態様で発光可能な発光手段と、

遊技者による操作に基づいて前記発光手段の輝度にかかる設定値の変更を受け付ける輝

度設定値受付手段と、

前記輝度設定値受付手段による設定値に基づいて前記発光手段の輝度を調整可能な輝度調整手段と

を備え、

前記発光手段は、前記扉部または前記本体枠が開放状態になったことが前記状態検出手段により検出された場合、前記演出に応じた態様とは異なる特定態様で発光しうるものであり、

前記発光手段が特定態様で発光している期間中においても、遊技者による操作がなされる都度、前記輝度設定値受付手段によって前記発光手段の輝度にかかる設定値の変更が受け付けられうるものである

ことを特徴とする。